

英語による中学校数学の模擬授業大会を終えて

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 私は、今週の火曜日 9 月 30 日発行の読売新聞栃木版にコラムを書かせていただきました。時を評するという「時評」のコーナーに、「英語教育について話し合う場を」とのテーマで 1000 文字弱のコラムを書かせていただきました。この内容については以前にもお伝えしていますのでご存じの方もいらっしゃると思いますが、日本の英語教育は 2020 年度を目標に大幅にもものすごい勢いで変わります。そこで、栃木県をはじめとする各県も各市町もそのための準備をしたほうがいい、具体的にどうしたらよいかということ話し合うプロジェクトチームを県や市町でつくってはどうかという提案をさせていただきました。
3. 既に、足利市は教育委員会の中に「英語教育推進プロジェクトチーム」というものをつくっています。私もメンバーの一人として 1 年間ぐらい議論をして提言をまとめさせていただき、実際に工程表に基づいて改革が進んでいます。足利市の英語教育のレベルはおそらく日本でも最高レベルのところまで到達していて、驚くほど素晴らしい質の内容が展開されています。プロジェクトチームの座長さんは吉田研作先生という上智大学の先生で、私も 1 年間お仕えしました。今、その先生が文部科学省の英語教育の推進プロジェクトチームの座長さんをなさっていて、数年前に足利市で始めた英語教育改革の内容がそっくり国のほうで議論されているということです。何年か前に足利市でそういう取り組みがあったことを知っている方があまりいらっしゃらないので、そのことについても「時評」に書かせていただきました。あとで是非ご覧ください。
4. さて、先週の金曜日 9 月 26 日に開倫塾足利本部校の 2 階で、英語による中学校数学の模擬授業大会を私が開催いたしましたので、今日はそのお話を少しさせていただきます。中学生が数学を勉強するときは日本語を使って勉強していますが、これから先は自分でよく理解した内容については英語でも中学校レベルの数学を勉強する。それから、中学校理科も日本語で一度勉強した内容を次に英語で勉強してみる。このようにすることが、英語の勉強にとっても、また、いろいろなところでも役に立つのではないかと思います、この大会を開催いたしました。
5. 大会には、先生方がたくさん集まってくださいました。参議院議員で 9 月 5 日まで文部科学大臣の政務官を務められた上野通子先生も来てくださいました。そして、ご熱心に見学していただき、

挨拶もしていただきました。また、足利高校、足利清風高校、足利工業高校、佐野日大高校、國學院栃木高校などの先生方や学習塾の先生方もたくさん参加してくださり、全体で 60 名ぐらいになりました。そこで、代表の方が英語による数学の授業をされて、その授業をみんなで見学させていただきました。具体的には、5 名の先生方が 15 分の模擬授業をし、そのあとに参加者との質疑応答をしました。そして、一番上手い方・頑張った方に私が表彰状を附与させていただきました。それが終わってから意見交換を行いました。教材は、教育開発株式会社の新中学問題集です。教育開発は学習塾や私立中学校でよく使われている教材を作っている会社で、今回使用した英語の翻訳本も作っていただきました。その会社の翻訳チームの方も 5 名来てくださり、一緒に見学していただきました。

6. 一番優秀だったのは、ネパール出身の留学生で足利工業大学の大学院博士課程に在籍しているピカス・ラムサルさんでした。同じくネパール出身の留学生で足利工業大学の大学院で勉強しているシグデル・ラビ・チャンデュウダさんとセルバ・チリ・テンジルさんも英語で数学の授業をしてくださいました。開倫塾からは深野友美先生と渡辺貴智先生というとても優秀な英語の先生に授業をしていただきました。5 人とも素晴らしい内容の授業でした。

7. 開倫塾の 2 人の先生も英語が上手ですが、ネパールの 3 人の方は本当に英語が上手です。そこで、私は「何年生ぐらいから英語を勉強しているのですか？」と聞いてみました。すると、3 人の方は笑って「公立の学校はネパール語ですべての授業を行っているが、私立の学校では小学校 1 年生からネパール語以外は全部英語で勉強している」と教えてくれました。「算数や数学はどうですか？」とお聞きすると、算数も数学も英語で勉強しているということでした。中学校・高校・大学でも同じだそうです。理科も科学も小学校 1 年生から英語で勉強しているそうです。「では、大学での論文は何語で書いたのですか？」と聞いたところ、「もちろん英語です」という答えでした。アジアにはこういう方がたくさんいるということは驚くような話だと思います。

8. 文部科学省は 2020 年に向けて小学校 3 年生から英語を少しずつ勉強し、5 年生からは英語の授業を週何回か正式な形で導入するというを進めています。ネパールに比べたらそんなことではとてもとても追いつきません。中学校の数学や理科の内容を英語に直した教材は文部科学省からはなかなか発行されませんので、学習塾用の教材を英語に直していただき、その教材を使って数学や理科を勉強する授業を我々が行っていくことも必要だと思います。一度日本語で勉強して理解できている内容を英語で勉強すれば非常にわかりやすいですので、そのようなことをやって、これから先高校や大学で留学したり、国際的な活動をしたりするときに役に立てて貰いたいと思っています。おそらく教材が出版されれば、他の学習塾も活用すると思います。このような形で、学習塾も学校と手を携えながらグローバル人材育成に貢献したいと考えています。

9. 今日は、開倫塾で 9 月 26 日(金)に開いた英語による中学校数学の模擬授業の様子をお伝えしました。放送をお聴きの皆さんにも、時代はどんどん変わっていることを認識していただければと思います。